

2026 年度 埼玉大学理工系学生のための夏季 COIL+海外短期研修
オーストラリア・ディーキン大学

Ver. 2026.4.22

1. 研修の目的

本研修は、基礎的な英語力と異文化コミュニケーション力を養い、多文化環境で協働する力を育むことを目的としています。

2. 研修の概要

本研修は、気候変動をテーマに多国籍チームで学び合い、食品ロスやソーラーカー・学生フォーミュラカーを題材とした次世代エネルギー等の課題解決型学習に取り組む実践的プログラムです。英語による授業聴講、海外に進出する日系企業の訪問、オーストラリア文化に関する学習を通じて、英語コミュニケーション力と国際的な協働力の向上を図ります。

3. 研修機関

オーストラリア・ディーキン大学

Deakin University

<https://www.deakin.edu.au/>

4. 研修期間

2026 年 9 月 15 日（火）～9 月 30 日（水）（16 日間）

日本出発：2026 年 9 月 14 日（月）、現地着 9 月 15 日（火）

日本帰国：2026 年 9 月 30 日（水）

5. 研修内容

- ① ディーキン大学工学部の学生と混合チームで取り組むグローバル PBL
 - ・ ディーキン大学・埼玉大学教員の指導のもと、「気候変動」をテーマとした課題解決型学習
- ② 専門科目の授業聴講
 - ・ PBL テーマに関連した講義を自由選択して英語で聴講
- ③ 日系・豪州企業の現場体験
 - ・ オーストラリアの学生とともにメルボルン市内の企業を訪問し、現場体験
- ④ COIL オンライン協働学習（渡航前 6 回（7 月～8 月）予定）
 - ・ ディーキン大学の学生と協働し PBL 実施に向けた事前学習と理工系基礎英語学習

6. 募集人数

埼玉大学理学部、工学部、理工学研究科に所属する正規学生 16 名程度

※ ディーキン大学工学部から同数の学生が参加します。

7. 滞在形式

ホームステイ

※ 2 名 1 家庭を予定

8. 研修費用

埼大生 16 名参加の場合：1 人 1.579 オーストラリアドル（日本円：約 18 万円）

※ 為替の変動により研修費用が大幅に変動する可能性があります。

1 人あたりの留学費用（日本円）のイメージ

- 研修費 181,585 円
- 往復航空券 213,370 円
- 海外旅行保険 6,780 円

合計 401,735 円

※ 研修費用にホームステイ費、空港往復送迎を含みます

※ 為替変動を考慮し、1 AUD≒115 円で試算しています。

※ 往復航空券の手配は STA により団体手配を予定しています。

9. 奨学金

2026 年度 JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）より 1 人 110,000 円の支給予定

1 人あたりの留学費用（奨学金差引額）：約 291,735 円

10. 応募・選考

10.1 応募資格

- 埼玉大学理工学、工学部、理工学研究科に所属する正規学生
- 事前・事後研修に参加できること
- 学内の国際交流活動に積極的に取り組む意思があること

10.2 応募方法

- ・ Microsoft オンラインフォームから申請
<https://forms.cloud.microsoft/r/W03EmjLpqV>
- ・ 応募〆切：2026年6月8日（月）23:59



10.3 選考方法とスケジュール

- ・ 応募資格や選考基準を満たした者の中から**先着順で選考**し、定員になり次第締め切ります。
- ・ 申請内容と学業成績に基づいて国際本部教員で書類選考を行います。

選考基準

- 学業成績
- 留学の目的および計画が明確であること
- 留学の成果を進路や将来に具体的に活かす意欲があること
- 本学の代表としての適性・資質が備わっていること

11. その他

- ① 研修参加者は留学前後で TOEIC S&W を受検します（受検料無料）。
- ② 研修全期間への参加、帰国後の報告書提出、および TOEIC S&W スコアの提出をもって、単位認定（AL2：2単位）を受けられます。
- ③ 海外渡航時は、「渡航誓約書」を理解した上で、大学の危機管理方針および本研修に関する海外渡航の規定に従ってください。
- ④ 研修期間中は、全日程を通じて本学教員が引率します。
- ⑤ 事前オリエンテーション（全3回、6月～9月予定）への参加が必要です。

12. 問い合わせ先

越智 貴子

国際本部准教授

E-mail: tochi@mail.saitama-u.ac.jp

業務用スマホ：070 8819 5038

教育機構棟 3階 323号室